

【所属名：教育委員会事務局こども課】

【会議名：令和5年度第1回子ども・子育て会議】

## 会 議 録

作成日 令和5年12月22日

日	令和5年12月20日(水)	時間	13:30~14:59	場所	糸魚川市民図書館会議室
件名	議事 (1)会長及び副会長の選出について (2)「子ども・子育て支援事業計画」の主要事業の進捗状況について (3)令和5年度事業について (4)その他				
出席者	【委員出席者】 11人 山本会長、松本副会長、伊藤委員、陸川委員、山本委員、山田委員、藤田委員、 小野委員、室川委員、井伊委員、神田委員 【委員欠席者】 中村委員、橋立委員、黒坂委員 【事務局】 (教育委員会事務局) 磯野教育次長 嶋田こども課長 室橋課長補佐 飛弾野係長 田村係長 小林主査 古川こども教育課長				
	傍聴者定員		一人	傍聴者数	0人

### 会議要旨

1	開会 教育次長 教育長あいさつ
2	委員自己紹介 出席者から順次自己紹介
3	議題 (1) 会長及び副会長の選出について 選出方法について事務局提案とすることの了解があり、事務局案として会長に山本裕美委員、副会長に松本香織委員を提案し、全会一致で決定した。 (2) 「子ども・子育て支援事業計画」の主要事業の進捗状況について ○事務局 資料に基づき説明 ○委員 「さんさん子育てサポート」について、18歳以下の子どもを養育する多子世帯となっているが、一人っ子は該当しないのか、また、上の子が19歳になればその世帯は対象外となるか。この事業の目的を教えてください。 ○事務局 少子化対策として、市内の子育て世帯を地域で支援する制度で、趣旨に協賛いただいた事業者が独自にサービスを提供するものである。 多子世帯だけでなく、高校生以下の子どもが1人でもいればカードを発行しており、一人っ子の世帯も発行している。趣旨が行き届いていないと感じられるので、周知を図りたい。出生や転入の際にカードの発行を行っており、漏れのないようにしている。

○委員

市立保育園の遊具等整備について、年1回等で実施しているのか。

保育園の遊具が痛んでいたり、マットに穴があいて放置されていたことがあり、保護者会でプレゼントしたことがある。こまめな点検をお願いしたい。また、園から要望があった際には確認してもらいたい。

○事務局

点検は、随時実施している。各園と連携して整備、更新を進めているが、安全で、安心して使ってもらえるよう考えたい。

○委員

少子化が急速に進んでおり、今までの少子化対策を検証する必要があると思うし、市独自で子育て支援の充実を今後進めてほしいと思っている。

駐車場の子育てマークについては、利用しているのをあまり見たことがないが、1台しかスペースないから止めずらいのではないかと感じる。

病児・病後児保育については、子どものことを思うと、病気の時は親と一緒に安心だと思う。必要な方もいるので、事業としては良いが、実績を増やすという間違った方向にはいけないでほしい。

全国的な動きもあり、糸魚川市でも3歳以下の保育料の無償化や小中学校などの給食費の無償化など早急に実行してもらいたい。

○事務局

少子化対策については、市でも以前から人口減少対策、少子化対策の施策を実施しており、経済的支援としては、この10月から子ども医療費の無償化も行っている。しかし、そうした支援が出生数の増に結び付いているかどうかも課題で、出生数と同様に婚姻数も減少しており、子育て支援の充実だけで少子化をカバーできるかも含めて少子化対策を考えなければならない。

子育てマークについては、最近では事業者のほうで自主的に設置するものが増えて、制度としては浸透していると感じる。事業者でやっけていただいているので、スペースを増やすことは難しいところもある。

病児・病後児の利用については、子どもが病気の時親と一緒にいるのが一番だと思っている。しかし、仕事を休めない人のためには必要な事業だと考えている。利用者数が増えれば増えるほど良いとは思っていない。

3歳以下の保育料と給食費の無償化については、市議会でもそのようなご意見があり、検討課題の1つと捉えている。

○委員

検討してもらいたいが、早急に実施してほしい。

屋内遊戯施設も、必要性を訴えたり、違った場所で廃校のリノベーションなど、以前からの課題であって、上越や妙高など市外の施設を利用している方もいるので、逆に来てもらえるようなすばらしい施設をつくってもらいたい。

病児保育についても、子育てしやすい事業所を増やし、環境づくりをしてもらいたい。

○委員

民生・児童委員会の部会で会議に行くが、福祉事務所の関係者しかおらず、民生委員からは、こども課とのつながりがないと言われた。子どもに関しては、家庭児童相談員が対

応しているが、民生委員が関わらなくて良いのかと思う。

先日、学校からある児童についての情報提供の依頼があったが、世帯の状況は民生委員が知っているので、その辺を大事にしてほしい。

今は不登校の子どもが多いという話も聞いたが、その子が大人になり引きこもりになったらどうするのか、子ども部門が情報を持っていても福祉事務所につながらないのでないか。きちんとした組織建てをしてほしい。

延長保育や一時保育について聞いた話で、親の仕事が終わって、買い物をしてから子どもを迎えに来るのは駄目なのか。子どもを迎えに行ってからわざわざ戻って買い物をするにしてみても、子どもの迎えを優先しなければならないのか。また、子どもを二人預けていたところ、一人の具合が悪いので病院へ連れて行く時に、二人とも連れていくように言われたり、保護者が深夜勤務後に家に帰ってきたら、家で預かれないのかと言われたことがあったと聞いたが、本当だとしたら、子育てに沿った行政とは何なのかと感じる。しっかりと対応してほしい。

#### ○事務局

主任児童委員とこども課の関わりということでは、課題のあるお子さんについて、児童虐待の問題などは家庭への対応が難しく、プライバシーに深く関わる部分もあり、今はこども課の家庭児童相談員が主に対応している。主任児童委員からは、地域において日常的に関わったり、生活する中で気になることがあれば、その情報をお知らせいただきたいと思っている。現状で、子どもの情報を知らせてもらうのは難しいのではないかと考え、そのようにしているが、主任児童委員との関わりを必要ないと思っている訳ではない。

延長保育等の件は、同じような話を、こども課にもいただいたことがある。基本的には、保育園に預けていただくお子さんは保護者が仕事等で子どもを見れない前提であるが、柔軟に対応していかなければならず、親がいるなら必ずみなさいということではないと考えている。

#### ○委員

児童部会に呼ばれたら来るのではなく、積極的にそちらから動くというのも大事ではないか。家庭児童相談員と主任児童委員の接点が必要ではないかと感じている。

地域に実際に入っているのは民生委員で、年に1回でも各民児協の会合などで教育委員会から説明してもらうことも大事だと思う。

#### ○事務局

民生委員は、民生委員だけでなく児童委員の肩書を持っており、その中で民生委員は担当地区を持っている。主任児童委員は地区の全体の児童委員で、細かな地区割りは当たっていない。こども課や家庭児童相談員との接点については、過去には4月の総会に伺って話をする機会があった。今後、こういった形で皆さんとお話ができるか福祉事務所や社会福祉協議会、主任児童委員の部会長と相談したい。

#### ○委員

雪が降った朝の様子を見ると、小学校の子どもの登校時間に歩道の除雪がされておらず、危ないと思うことがある。それはどこに伝えると良いか。

#### ○事務局

市道なら市、県道なら県で、それぞれの道路管理者が管理している。最近は歩道除雪もやるようになってきているが、すべての歩道で除雪ができていない訳ではなく、大雪の場合

には、除雪が間に合わない場合もある。

(3) 令和5年度事業について

○事務局 資料に基づき説明  
質疑等なし

(4) その他

○事務局

今年度中にもう1回会議の開催を予定している。目途としては3月頃であるが、日程が決まればお知らせしたい。

また、会議録を作成し公表することになる。公表の際には委員の名前は記載せず、発言内容は要約した形となるのでご承知おきいただきたい。

4 閉 会

○教育次長 あいさつ